

令和8年2月

## 令和7年中における山岳遭難の概況



静岡県警察本部

地域部地域課

# 1 令和7年中における静岡県内の山岳遭難発生状況

## (1) 統計資料等

### ア 発生件数等

区 分	発生件数	遭難者数	死 傷 別				
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救出
					重 傷	軽 傷	
令和7年	107(-6)	114(-14)	7(-10)	0(-3)	23(-2)	23(-3)	61(+4)
富士山	45(-14)	45(-25)	1(-9)	0(±0)	6(-6)	11(-5)	27(-5)
うち開山期	36(-17)	36(-28)	0(-6)	0(±0)	5(-7)	10(-5)	21(-10)
開山期以外	9(+3)	9(+3)	1(-3)	0(±0)	1(+1)	1(±0)	6(+5)
南アルプス	19(+2)	19(+2)	1(-3)	0(±0)	8(+2)	4(-1)	6(+4)
その他	43(+6)	50(+9)	5(+2)	0(-3)	9(+2)	8(+3)	28(+5)

### その他の山系別

天城山系	12(±0)	15(-1)	0(-2)	0(±0)	2(+2)	3(+2)	10(-3)
沼津アルプス	3(±0)	3(±0)	1(+1)	0(±0)	0(-2)	2(+1)	0(±0)
愛鷹山系	7(+4)	7(+4)	0(±0)	0(±0)	1(±0)	2(+2)	4(+2)
天子山系	2(-1)	2(-1)	0(±0)	0(±0)	0(-1)	1(±0)	1(±0)
安倍山系	1(-3)	1(-3)	1(+1)	0(-1)	0(-1)	0(±0)	0(-2)
奥大井山系	3(+3)	5(+5)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	5(+5)
北遠山系	1(-2)	2(-1)	0(±0)	0(-1)	0(±0)	0(±0)	2(±0)
その他	14(+5)	15(+6)	3(+2)	0(-1)	6(+4)	0(-2)	6(+3)

(括弧内は前年比)

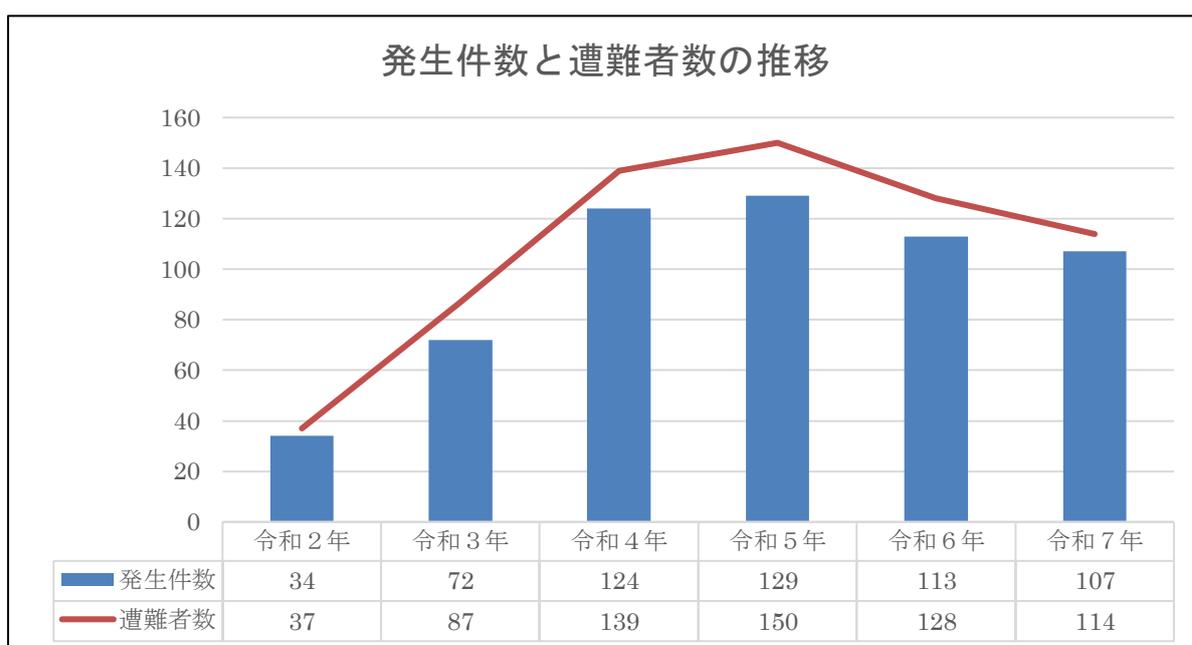
### イ 態様別発生状況 (態様その他～悪天候、転落、態様不明等)

	計	遭 難 者 数 (人)					山 系 別 (人)		
		死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	富士山	南アルプス	その他
合計	114(-14)	7(-10)	0(-3)	23(-2)	23(-3)	61(+4)	45(-25)	19(+2)	50(+9)
滑落	20(+4)	4(-3)	0(±0)	10(+5)	5(+1)	1(+1)	3(+2)	6(-4)	11(+6)
転倒	28(-12)	0(±0)	0(±0)	11(-9)	16(-4)	1(+1)	15(-13)	6(+2)	7(-1)
道迷い	22(-9)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	2(±0)	20(-9)	3(-5)	0(-2)	19(-2)
疲労	12(+8)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	12(+8)	7(+4)	2(+2)	3(+2)
病気	23(-1)	1(-7)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	22(+6)	17(-4)	4(+3)	2(±0)
その他	9(-4)	2(±0)	0(-3)	2(+2)	0(±0)	5(-3)	0(-9)	1(+1)	8(+4)

(括弧内は前年比)

### ウ 過去(令和2年～令和7年)の発生状況

区 分	発生件数	遭難者数	死 傷 別				
			死 亡	行方不明	負 傷		無事救出
					重 傷	軽 傷	
令和2年	34	37	9	1	3	4	20
令和3年	72	87	5	1	17	15	49
令和4年	124	139	10	0	22	14	93
令和5年	129	150	8	2	22	19	99
令和6年	113	128	17	3	25	26	57
令和7年	107	114	7	0	23	23	61



### エ 居住地別発生状況

	計	遭 難 者 数 (人)					山 系 別 (人)		
		死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	富士山	南アルプス	その他
合 計	114	7	0	23	23	61	45	19	50
静 岡 県	29	4	0	6	5	14	3	1	25
県外居住	74	3	0	13	17	41	31	18	25
国外居住	11	0	0	4	1	6	11	0	0

## オ 年齢層別発生状況

	計	遭 難 者 数 (人)					山 系 別 (人)		
		死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救助	富士山	南アルプス	その他
合 計	114	7	0	23	23	61	45	19	50
10歳未満	0								
10～19	5				1	4	3		2
20～29	21			3	1	17	13	1	7
30～39	8			4	2	2	5	1	2
40～49	18	2		3	6	7	5	4	9
50～59	17	2		4	5	6	5	3	9
60～69	24	1		5	5	13	10	3	11
70～79	14	1		4	2	7	1	6	7
80歳以上	7	1			1	5	3	1	3

### (2) 発生傾向

#### ア 件数、遭難者数とも減少、死亡、行方不明者が大幅減

年間の発生件数は107件(前年比－6件)、遭難者数は114人(同比－14人)でいずれも前年より減少し、死者7人(同比－10人)と大幅に減少した。

山系別では富士山が45件45人(同比－14件－25人)と最も多く、南アルプスでは19件19人(同比＋2件＋2人)、その他の山系が43件50人(同比＋6件＋9人)であった。

死者7人のうち滑落が4人で、全体の57.1%を占めた。

死者が前年比で－10人、行方不明者が前年比－3人と大幅に減少した。

#### イ 転倒が最多、疲労が増加

転倒が28人(24.6%)で前年から12人減少、病気が23人(20.2%)で前年から1人減少、道迷いが22人(19.3%)で前年から9人減少、滑落は20人(17.5%)で前年から4人増加、疲労が12人(10.5%)で前年から8人増加した。

#### ウ 居住別では県外及び国外居住が約8割

県外居住が74人(64.9%)、国外居住が11人(9.7%)、静岡県内者が29人(25.4%)で、県外居住と国外居住で約7割を占めた。

### (3) 山系ごとの特徴

#### ア 富士山 45 人（遭難者の 39.5%）

- ・ 富士山の遭難者数 45 人中、開山期の遭難者は 36 人で、前年に比べ－28 人と大幅に減少した。
- ・ 開山期間以外の遭難者は 9 人で、前年に比べ＋3 人に増加した。
- ・ 開山期以外の態様は、滑落 3 人（死亡、重傷、軽傷各 1 人）、病気 5 人（うち低体温症 4 人）、道迷い 1 人であった。
- ・ 転倒は県全体 28 人中富士山では 15 人（53.6%）であり、11 人が下山中に発生した。

原因はバランス崩し、スリップによるものが多数を占めた。

- ・ 病気は、県全体 23 人中富士山では 17 人（73.9%）を占め、高山病や低体温症といった高所ならではの病気が目立った。
- ・ 死者は県全体 7 人中富士山では 1 人（14.3%）であり、前年に比べ－9 人と大幅に減少した。
- ・ 開山期以外における五合目以上の登山道は、道路管理者である県が通行を禁止している。

#### イ 南アルプス 19 人（遭難者の 16.7%）

- ・ 滑落は県全体 20 人中南アルプスでは 6 人（30%）であった。  
うち死亡 1 人、重傷 3 人と重大な結果となったものが多数を占めた。
- ・ 滑落の発生場所は、茶臼岳（死亡 1 人、軽傷 1 人）、聖岳（重傷 1 人）の他、間ノ岳（軽傷 1 人）、千枚岳（重傷 1 人）、赤石岳（重傷 1 人）といった場所で発生した。

#### ウ その他の山系 50 人（遭難者の 43.8%）

- ・ 道迷いは、県全体 22 人中その他の山系は 19 人（86.4%）であり、ほとんどが怪我無く救助されている。
- ・ 道迷い 22 人のうち、10 人（45.5%）は天城山系で発生した。
- ・ 分岐間違いや、日没を迎え照明具の持参がなく登山道がわからなくなったケースが散見された。

## 2 山岳遭難を防止するには

天候、体調等に少しでも不安を感じたら「**勇気ある下山**」

「**登山自体の中止**」をお願いします。山頂より命の選択を!

### (1) 登山計画書の作成!!

目的となる山について所要時間や危険箇所などを調べることになるので、自分の体力や技量で無事に登って帰ってこれる山なのか否かの判断材料になります。



### (2) 作成した登山計画書の情報共有!!



登山計画は、家族や職場等と共有しておくことで万一の場合には捜索救助の手掛かりとなります。

登山計画書を受領している官公署（警察など）への提出や、登山アプリへの登山計画登録も、捜索救助への素早い立ち上がりにつながります。

※ 登山計画書は、インターネットから以下の方法でも提出可能です。

- ・ 静岡県公式HP「ふじのくに電子申請サービス」
- ・ 山岳安全対策ネットワーク協議会電子登山届「コンパス」
- ・ 登山アプリへの登山計画の登録

### (3) 登山する時の必需品

日帰り登山の予定でも天気が良くても、次の4つは必ず持参しましょう!

## 1 レインウェア上下

山ではよくある急な雨には欠かせません！

また停滞を余儀なくされた時の防寒具になります！



## 2 予備の飲食物

お昼のお弁当や道中のおやつとは別に用意を！

食べること、飲むことで身体も気持ちも元気に！

## 3 ヘッドライト

「日没を迎えたが暗くて歩けない」ということにならないために、また遭難時には救助へりに自分の位置を知らせるアイテムになります。



## 4 携帯電話(可能な限りスマートフォン)

### & 予備電池(モバイルバッテリー)

携帯電話は、救助機関とあなたをつなぐ命綱！

スマートフォンなら山岳用 GPS アプリのインストールが

可能！万が一の通報時にバッテリー切れとならない

ように予備電池も必要です。



# 開山期以外の登山は大変危険 御遠慮ください。

開山期とは例年7月10日～9月10日までの期間です

道路法第46条の規定により、  
富士山五合目～山頂の登山道は閉鎖中

## 通行禁止

(富士宮ルート5合目～6合目までは通行できる期間が他区間と異なる)

違反した場合、六月以下の拘禁刑又は  
三十万円以下の罰金に処される可能性があります。  
開山期以外は安全の保障が全くありません。

- 開山期とは登山環境が異なり、気象条件が厳しく気温の低下や落石の危険が高まり大変危険
- 強風、積雪などにより、歩行不能、転落又は滑落の危険がある
- 救護所やトイレ、山小屋が閉鎖されており、避難場所がない
- 登山道の補修は行われず、誘導看板、ガイドロープ等が不備
- 携帯電話が通じにくい
- 天候等によっては救助活動が出来ません



富士登山オフィシャルサイトURL : <https://fujisan-climb.jp/>



静岡県 (道路保全課、富士山世界遺産課)、静岡県警察